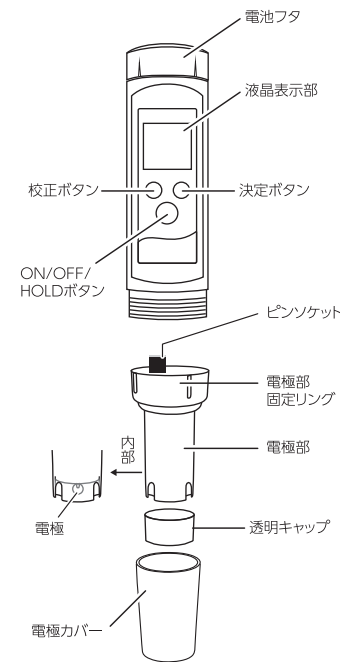


■用途

- pHの測定に。
- プールの水質調査、飲料水の検査、養魚管理に。
- 田畑の土壌のpH管理に。

■各部の名称



■特長

- コンパクトで携帯に便利です。
- オートパワーオフ機能付です。
- ホールド機能付です。
- 保護等級IPX5*なので水に濡れても安心して使用できます。
- ※いかなる方向からの噴流水によっても有害な影響を受けない。

■仕様

測定範囲	pH1.0～14.0
精度*1	±pH0.1
使用可能液温範囲	5～35℃
最小表示(分解能)	pH0.1
防水性能	保護等級IPX5*2
電源	アルカリ電池 LR44 3個 または、酸化銀電池 SR44 3個 (付属の電池はモニター用の為、寿命が短い場合があります。)
オートパワーオフ	無操作状態で約8分後
材質	本体、電極部:ABS樹脂 電極:ガラス
本体サイズ	φ40×185mm
製品質量	110g(電池含)

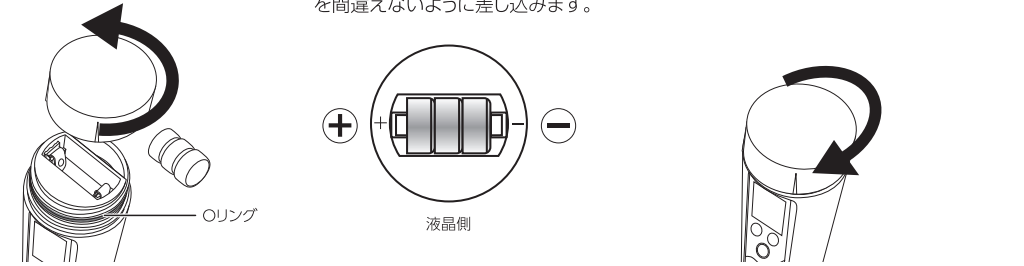
*1 標準液にて校正後、同標準液を測定した時の再現性を示します。
*2 いかなる方向からの噴流水によっても有害な影響を受けない。

■ご使用の前に

- 「■電池交換」を参照して電池を装着してから操作してください。
- 初回または長期間空けてからご使用になる場合は、電極を水道水に約24時間浸けた後、校正してからご使用ください。校正方法は「■校正」を参照してください。

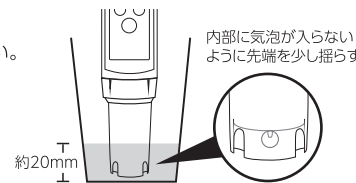
■電池交換

- ①下図を参照に電池フタを回し、古い電池を取り出します。
- ②新しい電池LR44を3個、またはSR44を3個用意し、+と-の向きを間違えないように差し込みます。
- ③リングが外れていないことを確認し、電池フタをしっかり閉めてください。



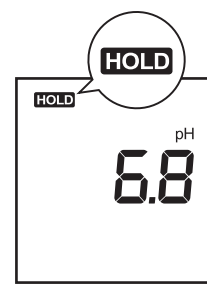
■使用方法

- 測定の際は、電極が完全に浸かるように先端から約20mm程液体に浸けてください。
- 液体に浸ける際、内部に気泡が入らないように先端を少し揺らしてください。



●液体のpH測定方法

- ①ON/OFF/HOLDボタンを押して電源を入れます。
- ②電極を測定対象の液体に浸け数値を読み取ります。数値を固定したい場合は、ON/OFF/HOLDボタンを押すと「**HOLD**」と表示され測定値を固定することができます(ホールド機能)。もう一度ON/OFF/HOLDボタンを押すと「**HOLD**」の表示が消え、固定は解除されます。
- ③電源を切る場合はON/OFF/HOLDボタンを長押ししてください。



●土壌のpH測定方法

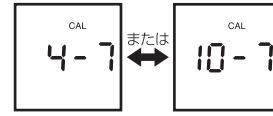
- ①容器に測定する土:水の容量が1:2.5の割合になるように入れて良くかき混ぜます。
- ②土が沈殿するまでしばらく待ちます。
- ③ON/OFF/HOLDボタンを押して電源を入れます。
- ④電極を容器の中の上澄み液に浸け数値を読み取ります。数値を固定したい場合は、ON/OFF/HOLDボタンを押すと「**HOLD**」と表示され測定値を固定することができます(ホールド機能)。もう一度ON/OFF/HOLDボタンを押すと「**HOLD**」の表示が消え、固定は解除されます。
- ⑤電源を切る場合はON/OFF/HOLDボタンを長押ししてください。*直接土壌には挿さないでください。電極が破損します。

■校正

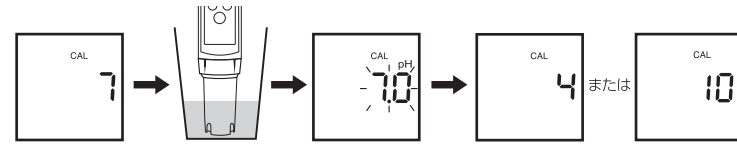
ご使用の際は下記の手順で校正を行ってください。

pH4.01、pH7.01、pH10.01の標準液で校正します。酸性でお使いの場合はpH7.01とpH4.01の標準液を、アルカリ性でお使いの場合はpH7.01とpH10.01の標準液をご用意ください。*標準液は必ず「pH4.01、pH7.01、pH10.01」の物をご使用ください。数値が異なる標準液をご使用された場合、正しく校正することができません。
*本製品に標準液は付属しておりません。弊社の標準液(酸校正用 品番73033または、アルカリ校正用 品番73034)か市販の標準液をご用意ください。

- ①ON/OFF/HOLDボタンを押して電源を入れます。
- ②電極を水道水ですすいだ後、さらにpH7.01の標準液ですすいってください。
- ③校正ボタンを3秒長押しすると校正モードになり、「CAL」と「4-7」(酸性)が表示されます。もう一度校正ボタンを押すと、「CAL」と「10-7」(アルカリ性)に切り替わります。酸性あるいはアルカリ性のどちらかを選び、決定ボタンを押してください。



- ④液晶に「7」と表示されたら、電極をpH7.01の標準液に浸け、決定ボタンを押してください。校正が開始され、数字が3回点滅した後、酸性を選択した場合は「4」、アルカリ性を選択した場合は「10」と表示されます。



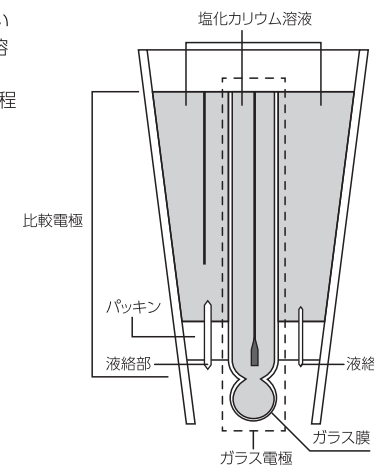
- ⑤もう一度、電極を水道水ですすいだ後、酸性を選んだ場合はpH4.01、アルカリ性を選んだ場合はpH10.01の標準液ですすいってください。
- ⑥液晶に表示された数値の標準液(pH4.01あるいはpH10.01)に浸け、決定ボタンを押して校正を開始してください。数字が3回点滅すると校正完了です。*上記操作中にON/OFF/HOLDボタンを押すと、校正をキャンセルすることができ、測定モードになります。

■電極のメンテナンス

- ご使用後は電極を流水で洗い流し、水気を切ってから透明キャップと電極カバーを取り付け、収納ケースに入れて保管してください。

校正や水道水による電極部の洗浄は測定対象や使用頻度にもよりますが、少なくとも週1度は行うことを推奨します。

- 本製品の電極には、塩化カリウム溶液の入ったガラス電極と、比較電極がついています。この部分が長期間空気に触れることで、比較電極の塩化カリウム溶液が酸化し液絡部の表面に結晶ができる場合があります。液絡部に結晶ができた場合は、水道水で洗い流すが塩化カリウム溶液に1日程浸けて取り除いてください。*電極は手で触れないようにしてください。*結晶ができた場合でも取り除けば測定数値に影響はありません。



■トラブルシューティング

トラブル	原因	対策
使用時に---表示が出る	通電していない	水に浸けて通電させる
	測定範囲を超えている	測定範囲内で使用する
	電極が乾燥している	約24時間水に浸けた後使用する
校正時にErr表示が出る	校正液に浸けていない	校正液にしっかりと電極を浸ける
	選択した数値と校正基準値が異なる	校正基準値と設定値が合っているか確認する
	校正液が変色などで正確に校正できない	新しい校正液で再度確認する
	電極付近に気泡がある	先端を軽く揺らして気泡を抜く
●標準液を使用しても校正できない ●標準液を使用しても正しい数値が出ない ●測定値が安定しない、時間が掛かる ●電極が曇っている ●電極が黒ずみ、残留物が取り除けなくなった	電極が使用不可能になっている	部品を交換してください。 品番:73108 品名:交換電極 デジタルpH計用

■電極交換方法

- ①本体の電極カバーを外します。
- ②本体の電極部固定リングを下図の方向に回して緩め、電極部を引っ張って外します。
- ③新しい電極部の電極カバーを外し、ピンソケットと本体のピンヘッドの位置に注意して、電極部を差し込みます。
- ④リングが外れていないことを確認しながら逆の手順で電極部を固定します。
- ⑤テープを剥がした後、透明キャップを外し、電極を露出させた状態でご使用ください。



▲ 注意

- 用途以外には使用しないでください。
- 本製品をぶつけたり、落としたり、乱暴な取り扱いにはしないでください。
- 電極はガラスの為、取り扱いにはご注意ください。また、直接手で触れないようにしてください。
- 高温多湿の環境で使用、保管はしないでください。
- 本体内部に鉄粉、ゴミ、ホコリ、水などが入らないようご注意ください。
- 本製品は絶対に分解しないでください。
- お子様の手の届かない所に保管してください。
- 電極を水に浸けて保管しないでください。
- 純水、油分が多い液体、粘性の高い液体には使用できません。
- 本体が汚れた場合は水や中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
- 長期間使用しない場合は必ず電池を抜いて保管してください。
- 弊社は、本製品に関連して生じたお客様および第三者の結果的損害、付随的損害、逸失利益などの間接損害について、それらの予見または予見可能性の有無にかかわらず一切の責任を負いません。ただし、弊社に故意または重過失が存する場合またはお客様が消費者契約法上の消費者に該当する場合は、この限りではありません。本製品の使用に関し弊社が損害賠償責任を負う場合、本製品の代金相当額を限度額として賠償責任を負うものとします。